くまもと障害者労働センター通信

ウィズ ～ともに～

WITH

復刊 第9号
2014.11.25
since1985

おれんじ村

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター　〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-40
TEL：096-382-0861　FAX：096-285-7755　http://1985orange.com

第31回 共同連全国大会熊本

2014.9.13(土)▶15(月)

熊本・九州のネットワーク力で成功しました

参加者の感想より

貧 困を個人の問題と捉えず社会構造の問題として捉えるという考え方、学校で働いていますが、貧困の連鎖の問題は深刻です。進学の為の資金不足もありますが、幼い頃からの環境には厳しいものがあります。青木氏の労働の厚み、迷い、○れの中にあるということ、法が平板化を招く危険性について…。

初 めての共同連全国大会に参加させていただきました。シンポジウムでは若い方々の素直な言葉が心に残りました。共に働くと皆さんが目指している理由が少しわかった気がしました。奥田さんの話は何度聞いても、いつも今何ができるのかを考えさせられます。

第 1 分科会に参加しましたが、障がい当事者の方や先輩保護者の方の話がきけ今までの自分の問題やこれからの課題が見えてきた気がします。参加してよかったです。

実行委員の感想より

第2分科会「社会的に排除されている人たちの就労とネットワーク」

第 2分科会では、「社会的に排除されている人たちの就労とネットワーク」をテーマに、刑余者の問題を中心に熊本の現状を報告し、課題を共有しました。出所後、無職者の再犯率は有職者の５倍という報告もあり、安定した就労が最重要課題です。雇用主の団体などの連携で仕事に就かれているケースもあるものの、住居の確保など困難事例がほとんどです。DV被害者も含め、シェルターの話から共同連との連帯を模索したいと思います。

くまもと支援の会
楠木　宏基

ロビーは販売で大賑わい ▶

▼カレーの試食も登場。

楽しかった交流会

岩尾まさし

９月１３日～１５日に第３１回共同連全国大会が熊本で開催されました。私は１３日と１４日に参加しました。中でも１３日の夜行われた交流会についてお話ししたいと思います。私は、この様な「交流会」に参加するのは初めてだったので、とても楽しみでした。

しかし、実際、会場に入って、会が始まると、あまりの人の多さに、とまどってしまいました。少しずつ時間がたって、慣れてくると、席を移動したりして、いろいろな人と話せるようになりました。そこで同じ職場の m さんから呼ばれ、滋賀県の「まちかどプロジェクト」の h さんと、Y さんを紹介してもらいました。お二人とは、自己紹介をしあって少しお話しする事ができました。

二人の印象は h さんは優しそうな方でした。また、Y さんは元気がよくてかわいい人でした。これが交流という意味だと思いました。二人とはもう少し話せたら良かったです。

そうこうしているうちに、各事業所の出し物が始まりました。おれんじ村は「恋するフォーチュンクッキー」のダンスを披露しました。他の出し物もたくさんあって、大変盛り上がりました。来年もまた参加したいと思いました。

▲ごちそうは食べられました。ヨカッタ!

何 よりよかったなと思うことは、実行委員会に参加された人たちと知り合えたこと。少ない経験だけど、いくらかの社会運動にクビ突っ込んできて、言うてもやってもいっこうにかわり映えのしない世界や、小さな世界の中でのつまらん足の引っ張り合い、そうかと思うと気づかぬうちに自分がハメられてたり、敵を間違えてんじゃないの?ってことがあったり、そうしたことにすぐ負けちゃってヤケ起こす自分のだらしなさ非力さ、「もうどうでもええわ～」と無気力。それは今もあって、なかなか若い時分みたいにヒタムキガムシャラにはなれません、せつないが。でも今回、今回は大会をつくることだったが、ひとつことをみんなでつくる楽しさ面白さは思い出したような気がする。

樋口　耕一郎

初 めての共同連の大会への参加が、実行委員としての参加になりました。実行委員といっても名ばかりで、大会直前と当日に右往左往するだけでしたが…。実行委員の事務局会議も、当日の大会も、自由闊達な雰囲気で楽しいものでした。一方で、私が現在所属している事業所の態様、つまり、同じ職場の人間が支援する側とされる側に明確に分けられていることの是非について、度々考え込んでしまいました。率直に言えば、「共生」の在り方については、事業所ごとに様々な経緯や事情があり、ひとつに定義することは難しいのでは、とも思います。ただ、自分たちにとっての「共生」とは何か、臆せず語り合い、言葉で共有するという姿勢は忘れないようにしたい、と思った日々でした。

社会福祉法人共生福祉会
多機能型事業所サンシャインワークス
支援員　岡崎　民

▲第4分科会「共に働く事業所の作り方」のグループワーク

全 国大会に参加するのは、はじめてでしたが、実行委員として関わらせて頂きました。大会内容などを話していたときは、どんな大会になるのか?ただただわくわくしていました。しかし、私は、実行委員会に参加しても頭の中には“？”ばっかりで…

大会が近づくにつれ…勝手に不安や緊張に襲われていました…。案の定、大会当日もあたふたするばかり…。でしたが少し余裕がでてくると楽しんでいました。この大会で全国から来られている方々と話をしたり、他の実行委員の方々と仕事をすることで、とても刺激を受けました。大会自体にはあまり参加することはできませんでしたが、大会を通してたくさんの事を学び、わっぱの方との楽しい思い出もできました。

くまもと障害者労働センター
武富早紀子

社 会的観光に参加したのは、26 名の方々、水俣病事件ゆかりの場所を案内しました。水銀を含んだ汚泥を埋め立てた「エコパーク」に立ち、深刻な被害を受けた漁村地域を遠望、かつて「魚（いお）湧く（わく）海（うみ）」と呼ばれた豊かな海で起きた水俣病、様変わりした光景の中で当時を想像することは難しいことだったかもしれませんが、「その原因」と「とられなかった対策」を伝えることで、公式確認から 58 年たっても解決を見ない水俣病事件への理解をしていただけたと思います。

企業組合エコネットみなまた　永野 隆文

ま ず率直な感想は、「疲れた。もう次はしたくないなぁ。」ということです。その次に、大会の運営にかかわって、多くの人と出逢えた喜びと、多くの人に応援していただき成功裡に大会を終えることができたという達成感と大きな自信、そして、ほんのちょっぴり寂しさを感じています。だから、そのうちまた共同連大会を熊本でしたいと思っちゃうのかなぁ…。

共同連大会を熊本で開催することで、多くの人に共同連の雰囲気を知っていただいたと思います。あとは、僕ら労働センターが熊本そして九州でどう拡げ繋がっていくのか、みなさま乞うご期待!!

くまもと障害者労働センター　野尻　健司

サマーワークショップ IN おれんじカフェ

共同連大会準備に追われる夏のある一日、この頃忙しすぎじゃない?
ちょっと手を止めて、みんなでゆっくり話をしよう!と
カフェを一日貸切にして、初めてワークショップ形式の研修を取り入れてみました。
実習生として参加した学園大 N さんが、実習生たよりとして、レポートしてくださいました。

“おれんじ村の良い所・悪い所・改善方法・どうしたら誰でも働けるか”ということを話し合った。２つのグループに分かれ意見を書き、まとめていった。そこで多く出された意見として、“みんなで”という言葉を沢山の方が使っていた。

“みんなで協力”“みんなで話し合う”などが意見として出された。おれんじ村では、「共生」つまり、障害者・健常者を分けないこと、そして、何に対しても、みんなで話し合うことを大切にしているということがとても感じられた。これは、おれんじ村の方、みなさんが大切にされていることだと分かった。

そして、悪い点の中に「忙しくなり、みんなと話す機会が減った」「大切にしていることが疎かになってきた」という意見が出た。このことについて、もう一度みんなで考え、大切なことを思い出すためのミーティングだったのではなかったのだろうかと思った。

私も、このミーティングによって、特色を理解していき、おれんじ村の方みんなで、話し合い、決めていくということを疎かになっていたなら、取り戻すことができたミーティングになっていったと思う。

であい ふれあい わかりあい

おれんじ村実習１日目の感想

山本　大河

今日は 2 名の方からお話をして頂きました。始めにお話をして頂けたのは Y さんです。Y さんには、置かれた境遇やおれんじ村に入社されるまで経緯などを詳細にお話しして頂きました。幼少のころから、支援学校の中で育ったという Y さんの話は、多くの考えさせる点を含んでいましたが、その中で特に印象的だった言葉が「やる前に決めつけるのはどうかと思う」というものでした。

この言葉は Y さんが学校や、親御さんにこうしなさいと言われたことに対して、まだ始めてもいないことを否定された時、度々口にされた言葉です。「親は（施設へ入所したほうが）安心するかもしれないけど、18 で自分の人生が決まってしまうのはいやだと思った」、そう Y さんがおっしゃった時に、障がい者の方の多くは施設で過ごされる事の方が多いのだろうと思っていた自身のこれまでの考えを改めることになりました。「障がいがあっても、自分らしいい、その人らしい生活をしたほうがよいと思う」そう語った Y さんの言葉は、非常に心に残っています。 また Y さんは、一人暮らしを始めるにいたっての興味深いお話もおっしゃいました。それは、Y さんが一人暮らしを始めようと決心されたとき、物件を選ぶ際に家賃や交通の便だけではなく、生活に応じた改造が受け入れてもらえるかという不動産の方とのやりとりで苦労されたお話、ヘルパーさんにどの程度まで（その当時）支援してもらえたかなど、私が今まで考えなかったようなことばかりでした。

この話の中で Y さんがおっしゃったのは、「施設の生活に慣れてしまうことは避けたい」ということでした。施設の生活に慣れてしまい、その生活で一生を暮らす事、自分の人生を自分で決められないこと。こうした悩みを持っていらっしゃるという意見を知ることができ、「自分らしく」という点について深く考える機会になったように思います。

2 人目にお話を頂いたのは、M さんです。M さんは、お母様のご尽力で幼稚園から中学校までは普通学校に通われたとのことでした。そこで体験されたいじめのお話には、大変心を痛めるものも多く、自身が学校の先生になったら、という立場からは常に考えなければならないであろう内容でした。そこで、M さんは「いじめに負けたらいけない」と、あるとき感情が爆発するまでひたすら耐えていらっしゃったそうですが、このように耐えている生徒に将来気がつくことができるだろうか、という考えも浮かびました。

そうしたお話をお聞きする中で考えたことは、多くの方々が「こうにきまっている」と思っての偏見が作り出した壁でした。M さんが小学校に在籍していた頃の支援学級の先生は「やってもむだだ」、「これ（勉強）はあなたにとって（これから）役に立たない」、との偏見から M さんが本当に「やりたい」と思っていた学習をさせることがなかったそうです。この場面でも「やるまえにきめつけてしまう」ことの危険性を考えることとなりました。

M さんの、たくさん考えさせるお話があった中で、もう1つ印象に残った事が、障がい者の方同士の偏見についてです。健常者の障がい者に対する偏見のお話をお聞きする機会は多いのですが、このようなお話を耳にするのは初めてだったためです。様々なところで起きる意見の相違を、どうやったら上手く解決できるのだろうか。これはそう簡単な問題ではないのですが、少なくともお二人のお話を聞いて、これからどんな人と接する時も（特に教職を希望する事もあり、生徒対応が思い浮かびますが）、心にとどめようと思った事があります。

それは、その人がどんな人生を行きたいと望んでいるか、その意思を確認することと、その意思に対して頭ごなしに否定することはあってはならないということです。Y さんは、やってもいないことを否定されることに心を痛め、M さんは、「やってもむだ」、「あなたは必要ない」と偏見から決めつけられることに心を痛めていたようでした。この様な将来に対する意思は、誰にでもあるものであると考えられますし、それだけに傷つける意思がなくても無意識に（私が）否定してしまうことがあるかもしれません。だからこそ、今回お聞きしたお二人のお話を心に留め、同時にこの考えも留めておこうと思うのです。

最後に、お二人のお話にのなかであったおれんじ村についての話をお聞きして、まだまだ私が無知だと思った点は、障がい者の方が運営されている施設は多くないこと、そして、ほとんどの施設では、健常者と障がい者が互いに分け隔て無く交流することがないと行く事でした。こうし

おれんじ村だよ！

秋祭りだよー in 長嶺ふれあい公園

2014 9.28 日

馬崎　亮

秋祭り？ ウソでしょ、夏祭りでしょ、といいたくなるほどの快晴と暑さのもとでの一日、 疲れました。 疲れました。 感想聞かれてもそれしかでてこないくらい完全燃焼しました。

でも、共同連大会のあと、祭りの準備期間は実質２週間しかなかったのですが、たくさんの協賛をご提供いただき、 まつりの出店や出し物をたくさんの人が楽しんでくださり、最後の抽選まで盛り上がって、感無量です。おれんじ村の実習生や、 共同連大会の実行委員の方々も、手伝いに駆けつけてくださいました。 皆さん、祭りを盛り上げてくださってありがとうございました。

祭り名物・抽選会！皆さん、最後まで楽しんでいただきました

ピカケスタジオさん、おれんじ村の祭りに初登場！

西原中学合唱部の歌声！手話ダンスも交えて。

今年の出し物は、AKB48 の「恋するフォーチュンクッキー」。ぶっつけ本番ながら楽しく踊れて、幸せな気分に！

サックス初披露。恰好決まってます！

おれんじ村の実習たより

先日は、おいそがしい中、10日間の実習をさせていただき、有難うございました。実習では、作業に集中してすることをがんばりました。これからはしゃべらないでもっと作業に集中することも頑張りたいと思います。 本当にありがうございました。

熊本支援学校
高等部２年
白石　一貴

◀写真は、カフェで実習中の
松橋支援学校・山下弘珠さん

現場実習で頑張ったこと

長嶺中３年　松江昂大

僕は、10月20日から5日間、おれんじ村で仕事をしました。

仕事の内容は、お菓子の製造と販売、カフェでした。お菓子の製造は、ミキサーに卵と砂糖を入れてタイマーで時間を計って混ぜました。そして出来た生地を6gに計って、それを整えてカップに入れました。この仕事は、うまく出来ました。でも、クッキー袋づめは、8個入れなければならないのに、10個入れてしまい失敗をしてしまいました。

販売は、保育園や会社、小学校・中学校などに行きました。1回目は、できるかなぁと緊張しました。お客さんにかける声も小さかったと思いました。2回目の販売は、託麻南小と長嶺中に行って、まだまだ緊張したけど1回目よりは声を出せました。たくさん商品を買ってもらって嬉しかったです。実習が終って、買ってくれた先生から「クッキー美味しかったよ」と言ってもらった時は、「作ってよかったなぁ」と思いました。

カフェでの仕事は、テーブルをふいたり、さつまいもの皮をむいたりしました。5～6人位お客さんが来ました。おれんじ村で働いてる人達は、仕事の内容も分かってすばやくしていているからすごいなぁと思いました。

僕の実習の目標は、あいさつを大きくするという事でした。でも声がぜんぜん出てないと思いました。だからこれからも声がもっと出せるように頑張ろうと思います。

最後に、実習を通して思ったことは、仕事は、集中してやる事が大切だと思いました。実習で学んだ事を生かして卒業まで4ヵ月を精一杯頑張ろうと思います。

ニューフェイス登場！

あれっ、ニューフェイス？
そうです。前号に実習生で登場の岩尾さん。
今では、おれんじ村の正式メンバーです。
といっても今やすっかりおれんじ村になじんでしまって、新メンバーかなあ？と思うほどです。

岩尾将司さん

山添あかりさん

お菓子作りとCAFEのスタッフをしています。
シフォンケーキ作りが上手にできます。料理も得意です。
フェイスブックしてます。写真（動物、ゆるキャラ）を撮るのが好きです。ORANGE CAFEで写真展したいと思っています。
おれんじ村で働いて給料もらって１人暮らしするのが目標です。

年末恒例 もちつき大会!!

ORANGE CAFE（おれんじかふぇ）通信 お知らせ特大号

▲昨年の様子

12月27日(土) 13:00～

今年の締めに!! もちつき大会を開催致します!!
毎年 ORANGE CAFE を真っ白に!!
昔ながらのやり方、きねとうすを使って、
みんなで丸めて、楽しい時間になりますよ!!
エプロンと三角巾、動きやすく
汚れても大丈夫な服装でお越しください!!

参加費 無料
お土産のお餅あり！

白石一貴 作品展

10月28日～12月上旬まで
おれんじカフェで、白石一貴さんの作品展を開催しています！
感じた想いをそのままことばに。
見たらホッコリする作品ばかりです。
ぜひ一度ご来店、ご鑑賞ください！

2015 筆あそびカレンダー 白石一貴の詩

白石一貴くんの詩を
毎月１篇ずつ、
手すきのリサイクル紙にのせて、
カレンダーにしました。
カフェの原画展とともに、
どうぞ手にとってご覧ください。

熊日スパイスに掲載されました！

ORANGE CAFE（おれんじ カフェ）
手作りの軽食ランチ
木曜夜限定ビュッフェ
障がい者と健常者が共に個性を発揮しながら働く場として、社会福祉法人が営むカフェ。手作りの軽食ランチは、「オムライス」ほか3種（500円、ランチ時間外700円）。木曜夜限定のビュッフェ「宵カフェ」のほか、絵本の貸し出しや手話教室などのイベントもあります。
DATA 東区長嶺南3-2-12
☎096(293)1323
⏰11時～16時 ※ランチ12時～15時 ※木曜「宵cafe」は18時～20時
休 月曜・第1金曜、ほか不定休あり 🅿3台

12月からカフェの駐車場が増えます。
HPをご覧になるか、直接お尋ねください。
1985orange.com

大山桂司 ライブ情報

参加費 ￥500

12月13日(土) 14:00～16:00

8月2日にギターと生歌とたのしいトークで盛り上げて下さった大山桂司さん再び!!
ギターと歌声と楽しいトークであっという間の２時間です。是非お越し下さい。

編集後記

前号から5か月も経ってしまいました。共同連全国大会のプレイベントや準備に東奔西走の夏（そんな中でのカフェでの丸一日のワークショップは貴重な時間でした）、全国大会本番と秋祭りに燃え尽きた9月、そしてその後はイベントシーズンの秋到来！

お伝えしたいこと、記録に残したいこと、いっぱいあり過ぎて、もっと深めたい出会いも、なかなか思うようにできなくて…。IT部は、そんな、つながりを深められるような情報発信を仕事に、と誕生したのに、通信さえ定時発行できなくて、申し訳ない限りです。でも、どこかで、まだ知らない人も、同じ様な気持ちを抱えて日々奮闘しているのだと、確信できた一年でした。よいお年を！

お礼とお願い

私たちの共働事業は、障害のある人もない人も一緒に働いて、厳選した材料を使用し、安全なお菓子を製造し、皆様のお手元へ届けることで成り立ちます。

この3か月で、延べ353か所の事業所やイベントで販売をさせて頂きました。心から御礼申し上げます。いつもご引きにして頂き、ありがとうございます。

さて、ただ今、冬のギフトキャンペーン展開中です。別紙チラシもどうぞぜひご覧ください。

製造部＆販売部